

2022年1月20日



プレスリリース



次世代バンキングシステムへの更改について

福島銀行（取締役社長 加藤 容啓）は、SBI 地方創生サービシーズ株式会社（本社 東京都港区、代表取締役社長 北尾 吉孝）が提供する「地域金融機関向けのクラウドベースの勘定系システム」を採用することを決定いたしましたので、お知らせします。

本システムは、SBI 地方創生サービシーズが、SBI ホールディングス株式会社（本社 東京都港区、代表取締役社長 北尾 吉孝）と、フューチャーアーキテクト株式会社（本社 東京都品川区、代表取締役社長 神宮 由紀）との業務提携に関する基本合意に基づき、共同で開発を進めているものです。

アマゾンウェブサービス（AWS）上で設計・構築され高い拡張性を実現するほか、オープン API（*）を通してアクセスチャネルの多様化を可能にし、機能の新規・追加開発が低コストかつ短期間で実現可能であるなど、デジタルトランスフォーメーション（DX）と業務改革を実現しつつ、持続的に進化し続けることが可能なシステムを目指しています。

当行は、中期経営計画「ふくぎん 福島創生プロジェクト」の主要施策の一つとして「DX化の推進」を掲げており、本システムへの更改により業務改革・効率化を更に加速させ、お客さまには利便性の高い、最新の金融商品・サービス等のご提供を実現いたします。

なお、本システムは 2024 年中の稼働を予定しております。

1. 次世代バンキングシステムの特徴

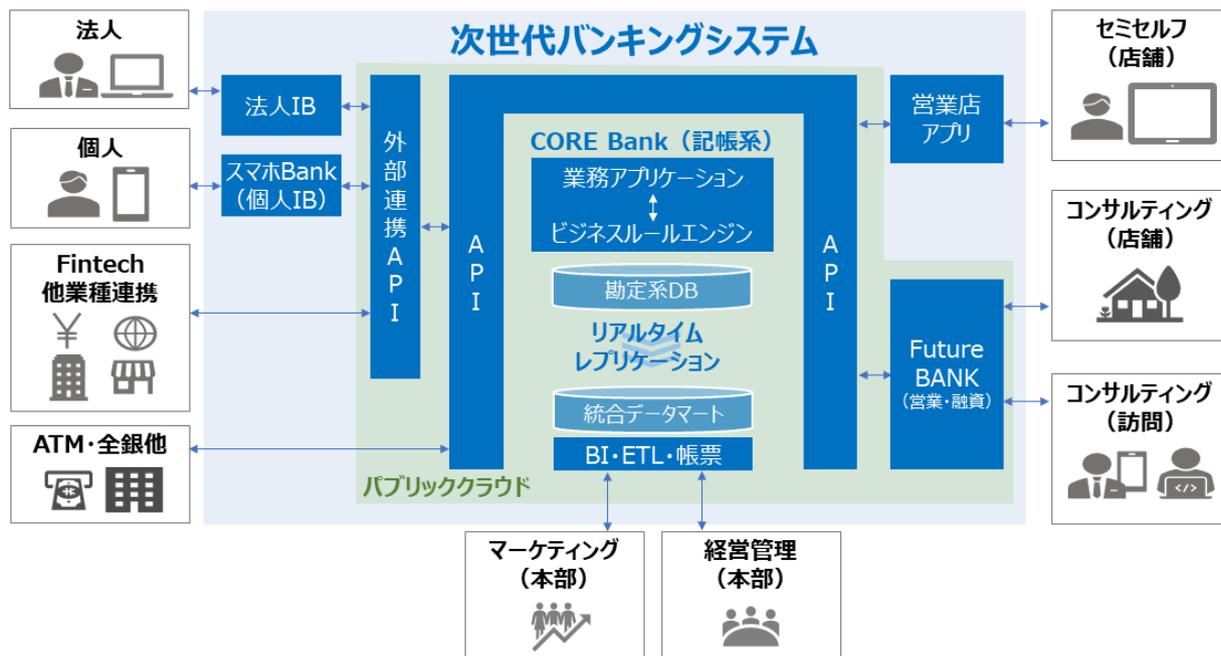
- システム構成がシンプルで新しいサービスの拡充や機能追加が容易となり、経営環境の変化に柔軟かつスピーディーに対応が可能となります。
- 銀行事務を紙からデジタルベースに変革し、印刷コストの削減や店舗の省スペース化をはじめ業務効率化を実現します。

2. お客さまへ新しいサービスの提供

- 一部のお取引を除き、伝票レス・印鑑レスとなります。
- タブレットとセルフキャッシャー（簡易入出金機）により、スムーズな窓口手続が可能となります。
- オープン API（*）により地元企業を含む外部事業者と柔軟に連携することができ、お客さまへ様々な最新の金融商品・サービス等のご提供が可能となります。
- お客さま情報を効率的に整備・統合する業務系システム（FutureBANK）の導入により、営業や融資をタイムリーかつスピーディーにご提案いたします。

（*）システム接続仕様を外部事業者に公開しアクセスを認めることで、フィンテック事業者との連携がしやすく、利便性の高い安全なサービスが提供可能となります。

【次世代バンキングシステム イメージ図】



【フューチャーアーキテクト 会社概要】

- 商号 : フューチャーアーキテクト株式会社
- 所在地 : 東京都品川区
- 設立 : 2016年4月 (フューチャー株式会社よりITコンサルティング事業を継承)
- 代表者 : 代表取締役社長 神宮 由紀
- 事業内容 : ITを武器とした課題解決型のコンサルティングサービスの提供
- URL : <https://www.future.co.jp/architect/>

本件に関するお問合せ先
 福島銀行 事務部 TEL 024-525-2536

以上